

いま、ひとつになる。

求められる市町の枠を越えた連携
効率的な生活機能「定住自立圏構想」



団結「共通の想い」

現在、日本では少子高齢化や都市部への人口流出などによる人口減がすすんでいます。

また、これからは全ての自治体が国から平等な支援を受けることや、フルセツトの生活機能を整備することは困難な時代となりました。特に地方圏においては、単一の自治体が独自の力で生き残っていくのは、極めて厳しいと言えます。

そこで、これからは、ひとつひとつの自治体が枠を越えて手を結び、その中で互いに協力しながら生活機能の整備や政策などを行っていく考え方が重要となってきます。

「地方圏でも安心して暮

らせる地域にしたい。」その思いは、八溝山を囲む2市6町(栃木県大田原市、那須塩原市、那須町、那珂川町、福島県棚倉町、矢祭町、埴町、茨城県大子町)を、「八溝山周辺地域定住自立圏構想」の設立に向けて突き動かしました。

3県にまたがる定住自立圏の取り組みは日本初です。

地域のリーダー「中心市」

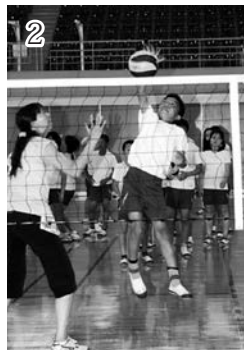
定住自立圏構想を実施するにあたり、『中心市』は必要かつ不可欠な存在です。

定住自立圏構想とは、地域を引っ張っていく中心的な自治体(中、心市)と、中心市と連携する意志を有する関係市町が手を取り合って圏域を形成し、その中で必要な生活機能の確保や、地域の魅力を育てることを目的とする取り組みです。

定住自立圏構想の基本的な考え方の一つに「中心市と連携市町が持つそれぞれの機能で相互に役割分担し、圏域全体を活性化させ

想定される連携イメージ

1 ドクターカー運行事業/2 公共施設の相互利用事業/3 伝統芸能・郷土芸能大会開催事業



る。」というものがありません。例えば中心市に整備された総合病院から関係市町にドクターカーやドクターヘリを派遣したり、中心市や関係市町にある公共施設を同額の料金で使用することなどが考えられます。また、関係市町やその姉妹都市などの伝統芸能・郷土芸能団体を一同に会した

郷土芸能大会を開催することで、それぞれの地域の伝統に触れ、理解を深めることもできます。それらの取り組みにより、都市部への人口流出に歯止めがかかり(定住)、経済基盤や地域の魅力が培われること(自立)が期待されます。中心市は、生活に必要な一定の都市機能があり、連携市町村の住民もその機能を活用しているような都市であることが望ましいといえます。そのため、中心市になるためにはいくつかの条件があります。それらをすべて満たしている市町は3県にまたがる2市6町の中

で、大田原市のみです。そこで、大田原市は3月4日の市議会定例会で、圏域の中でリーダー的な役割を担う強い意志のもとに「中心市宣言」を行いました。

「いま」大きく踏み出す。

これまで、2市6町で構成する「八溝山周辺地域定住自立圏構想研究会」で、さまざまな分野別の研究が行われてきました。それぞれ自治体の抱える課題や想定される取り組みの洗い出し作業、それぞれ異なる街の特徴、日本初の3県にまたがる地域の意志統一。これらのいくつもの高い壁を目の前に、全員が「住民のみんなが安心して暮らせる地域にしたい。」といった共通の思い、強い熱意を胸に、今後取り組みむべき明確なビジョンについて検討を重ねてきました。そして、大田原市が中心市宣言を行ったことにより、八溝山定住自立圏構想は大きく動き出します。これからは、大田原市の中心市宣言書に記載されて

いる、「連携が想定される取り組み」をもとに、関係市町と更なる連携施策の検討、協議を進めていき、協議の整った自治体から順に協定締結を行っていきます。2市6町の思いが形になる日はそう遠くないでしょう。



special feature article 魅力あふれる圏域を目指して

Voice-

～ 想いを声に～

定住自立圏構想にのせた想い 「幸福感あふれる圏域をめざして」

「第三の改革」と言われる地方分権改革の中、われわれ自治体は、国からの責任と権限の一体的移譲により、自律的な自治体への改革が求められています。



そこで、定住自立圏の形成による新しい広域連携のあり方に着目しました。

当圏域を構成する市町が機能的な連携を図ることによって、人口の流失から地域住民の生活を守り、個性的で創意豊かな地域づくりを実施していきます。

それにより、定住に結びつく人口の確保を図りながら、持続的で魅力的、そして住民の皆様に幸福感があふれる圏域の形成を推し進めていきたいと考えています。

Ohtawara city mayor
Tomio Tsukui



Tochigi

大田原市、那須塩原市、
那須町、那珂川町

Fukushima

棚倉町、矢祭町、埴町

Ibaraki

大子町

大田原市長 津久井 富雄

特集
special
feature article